

チャイルドワ
ポートモリや

(別添資料1)

事業所名

チャイルドサポートモリやま
(重症心身障害児以外 児発)

支援プログラム (参考様式)

作成日

令和6年

8月

1日

法人(事業所)理念	利用児、及びご家族の光・希望となれるよう、家族のような長期的・継続的な視点を持って生活のお手伝いをし、いずれは本人が自分で生活を営めるよう支援いたします								
支援方針	保育園・幼稚園・こども園などの社会生活の中では、カリキュラムに沿った成績を収めることは基本的な事です。しかし、それは必ずしもすべての子の自立において最優先されるべきではない場合もあります 社会適応の範囲で最大限『じぶんらしさ』が発揮できるようなスキルの獲得と環境調整を当事業所は療育方針といたします								
営業時間	9時	0分	から	17時	0分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支援内容									
本人支援	健康・生活	・来所時に体温を測定し、家での様子などからその日の体調を把握します ・来所時に行くことを、絵カードを用いてルーティン化できるように働きかけます ・自分でできることは自分で出来るように環境を設定し、自立につなげていきます							
	運動・感覚	・活動では、体幹を鍛えるためのバランス運動や、様々な感覚を経験するために感覚統合を取り入れています ・天気の良い日は外で動く活動を取り入れ、いろいろな物に触れていきます							
	認知・行動	・スライム、小麦粉、米など色々なものを触り、五感を刺激します ・散歩を行い、季節の変化への興味などの感性を養います ・くみくみスローやブロック遊びによる空間把握の認知形成を促します							
	言語 コミュニケーション	・言葉での促しだけではなく、一日の流れを順番に並べた絵カードで示し、視覚化を図っていきます ・児童が苦手な事、好きな事を深められるように家族と連携を図り個別活動を行います ・発語がある、なしに関わらず、絵を見せながら名前と物がリンクしていけるようにします							
	人間関係 社会性	・他人に対する興味が沸くように、他児と交流の時間を大事にします							
家族支援	夏祭りやクリスマス会など、年2回保護者様と交流する機会を作っています					移行支援	・相談員さんと連携を図り、就学に向けて準備をします。定期的に会議の場を設け、保育園・幼稚園や保護者さんとの情報共有を図ります		
地域支援・地域連携	近くの事業所と一緒に活動をしたり、地域のイベントに参加しています					職員の質の向上	月2回/木曜日に学習会を行い、児童の特性、疾患、支援方法などについて知識を深めています その他/講師による研修・動画視聴研修		
主な行事等	夏祭り、クリスマス会、お泊り会、プログラミング、お誕生日会など								

事業所名

チャイルドサポートもりやま
(重症心身障害児以外)

支援プログラム (参考様式)

作成日

令和6年

8月

1日

法人(事業所)理念		利用児、及びご家族の光・希望となれるよう、家族のような長期的・継続的な視点を持って生活のお手伝いをし、いずれは本人が自分で生活を営めるよう支援いたします					
支援方針		学校や社会生活の中では、カリキュラムに沿った成績を取めることは基本的な事です。しかし、それは必ずしもすべての子の自立において最優先されるべきではない場合もあります。社会適応の範囲で最大限『じぶんらしさ』が発揮できるようなスキルの獲得と環境調整を当事業所は療育方針といたします					
営業時間		9時	0分	17時	0分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・来所時に体温を測定し、学校や家での様子などからその日の体調を把握します(児童発達支援・放課後等デイサービス) ・来所時に行くことを、絵カードを用いてルーティン化できるように働きかけます(児童発達支援・放課後等デイサービス) ・自分でできることは自分で出来るように環境を設定し、自立につなげていきます(児童発達支援・放課後等デイサービス) 					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・活動では、体幹を鍛えるためのバランス運動や、様々な感覚を経験するために感覚統合を取り入れています(児童発達支援・放課後等デイサービス) ・その他週1回は外遊びを行い、身体を目一杯動かします(放課後等デイサービス) ・天気の良い日は外で動く活動を取り入れ、いろいろな物に触れていきます(児童発達支援) 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回集団での活動に参加し、集団でのルールや子ども同士のやり取りを学べるように関わります(放課後等デイサービス) ・くみくみスローやブロック遊びによる空間把握の認知形成を促します(放課後等デイサービス) ・スライム、小麦粉、米など色々なものを触り、五感を刺激します(児童発達支援) ・散歩を行い、季節の変化への興味などの感性を養います(児童発達支援) ・くみくみスローやブロック遊びによる空間把握の認知形成を促します(児童発達支援) 					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・食事の挨拶や帰りの会では当番を決め、担当児童が進行を行います。他の児童はその日楽しかった事を発表し共有します(放課後等デイサービス) ・児童が苦手な事、好きな事を深められるように家族と連携を図り個別活動を行います(児童発達支援・放課後等デイサービス) ・活動内容は、分かりやすいように口頭で説明する他、絵に表したり、細かく書き出したり視覚化を図っています(放課後等デイサービス) ・言葉での促しだけでなく、一日の流れを順番に並べた絵カードで示し、視覚化を図っていきます(児童発達支援) ・発語がある、なしに関わらず、絵を見せながら名前と物がリンクしていけるようにします(児童発達支援) 					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・色々な学年の児童と関わることで、高学年は低学年のお世話をするなど、自分の役割を意識できるように関わっています(放課後等デイサービス) ・ルールのある遊びなどは児童が主になりルールを決められるように関わり、お友達とうまくいかない時も子ども達の方で解決できるように支援します(放課後等デイサービス) ・他人に対する興味が沸くように、他児と交流の時間を大切にします(児童発達支援) 					
家族支援	夏祭りやクリスマス会など、年2回保護者様と交流する機会を作っています。保護者様の悩み事に関して事業所での様子などの情報交換と助言・相談を行います。送迎や延長支援も必要に応じて対応いたします。	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブと並行利用している場合における並行利用先との連携・ライフステージの切り替えを見据えた将来的な移行のに向けた準備・同年代のお友達をはじめとした地域における仲間づくり ・相談員さんと連携を図り、就学に向けて準備をします。定期的に会議の場を設け、保育園・幼稚園や保護者さんとの情報共有を図ります 				
地域支援・地域連携	近くの事業所と一緒に活動をしたり、地域のイベントに参加しています	職員の質の向上	月2回/木曜日に学習会を行い、児童の特性、疾患、支援方法などについて知識を深めています その他/講師による研修・動画視聴研修(感染、虐待、身体拘束等)				
主な行事等	夏祭り、クリスマス会、お泊り会、プログラミング、お誕生日会など						

事業所名

チャイルドサポートもりやま
(重症心身障害児 児発)

支援プログラム (参考様式)

作成日

令和6年

8月

1日

法人(事業所)理念		利用児、及びご家族の光・希望となれるよう、家族のような長期的・継続的な視点を持って生活のお手伝いをします								
支援方針		日常的に医療ケアを必要とするお子様一人一人が安心して過ごせ、保護者の皆様が自分の時間を確保してリフレッシュしたり、仕事に出られるようにお手伝いをします お子様一人一人の発達状態に応じて、心身の調和による発達を促せるよう支援を行い、個別プログラムを基に取り組みます ご家族の心に寄り添い、ご家族と共に地域の中で育てていくことを理想としています								
営業時間		9時	0分	から	17時	0分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・来所時に体温を測定し、学校や家での様子などからその日の体調を把握します ・おやつ、活動、リハビリの流れを固定し、生活リズムが安定するように支援します 								
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリを通して活動の中で、姿勢の維持やリラックスできる体位などを提供します ・ふれあい遊びや楽器を使用し、音遊びを行います 								
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・スライム、小麦粉、米など色々なものを触り、五感を刺激します ・散歩を行い、季節の変化への興味などの感性を養います 								
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションが取れない児に対しては、非言語的コミュニケーションを大事にし表情の変化や動作から思いを読み取る工夫をします 								
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・他人に対する興味が沸くように、他児と交流の時間を大事にします 								
家族支援		夏祭りとクリスマス会など、年2回保護者様と交流する機会を作っています			移行支援		相談員さんと連携を図り、就学や進学に向けて準備をします・就学、進学後も定期的に会議の場を設け、保護者さんとの情報共有を図ります			
地域支援・地域連携		近くの事業所と一緒に活動をしたり、地域のイベントに参加しています			職員の質の向上		毎週木曜日に学習会を行い、児童の特性、疾患、支援方法などについて知識を深めています			
主な行事等		夏祭り、クリスマス会、お泊り会、プログラミング、お誕生日会などお出かけも多く								

事業所名

チャイルドサポートもりやま
(重症心身障害児 放課後等デイサービス)

支援プログラム (参考様式)

作成日

令和6年

8月

1日

法人(事業所)理念		利用児、及びご家族の光・希望となれるよう、家族のような長期的・継続的な視点を持って生活のお手伝いをします								
支援方針		日常的に医療ケアを必要とするお子様一人一人が安心して過ごせ、保護者の皆様が自分の時間を確保してリフレッシュしたり、仕事に出られるようにお手伝いをします お子様一人一人の発達状態に応じて、心身の調和による発達を促せるよう支援を行い、個別プログラムを基に取り組みます ご家族の心に寄り添い、ご家族と共に地域の中で育てていくことを理想としています								
営業時間		9時	0分	から	17時	0分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・来所時に体温を測定し、学校や家での様子などからその日の体調を把握します ・おやつ、活動、リハビリの流れを固定し、生活リズムが安定するように支援します 								
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリを通して活動の中で、姿勢の維持やリラックスできる体位などを提供します ・ふれあい遊びや楽器を使用し、音遊びを行います 								
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・スライム、小麦粉、米など色々なものを触り、五感を刺激します ・散歩を行い、季節の変化への興味などの感性を養います 								
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションが取れない児に対しては、非言語的コミュニケーションを大事にし表情の変化や動作から思いを読み取る工夫をします 								
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・他人に対する興味が沸くように、他児と交流の時間を大切にします 								
家族支援		夏祭りやクリスマス会など、年2回保護者様と交流する機会を作っています 保護者様の悩み事に関して事業所での様子などの情報交換と助言・相談を行います。 送迎や延長支援も必要に応じて対応いたします。				移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・相談員さんと連携を図り、就学や進学に向けて準備をします・就学、進学後も定期的に会議の場を設け、学校や保護者さんとの情報共有を図ります 		
地域支援・地域連携		近くの事業所と一緒に活動をしたり、地域のイベントに参加しています				職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 月2回/木曜日に学習会を行い、児童の特性、疾患、支援方法などについて知識を深めています その他/講師による研修・動画視聴研修(感染、虐待、身体拘束等) 		
主な行事等		夏祭り、クリスマス会、お泊り会、プログラミング、お誕生日会などお出かけも多く								